

月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島

Vol.34 2011 5/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

追手門学院大学
×
ナカノシマ大学

奥田尚・永吉雅夫

「天下の要! 大阪城の秘密
〈初夏の陣〉」

申し込み受付中!

中之島
モダン美術倶楽部



La cappella Rucellaria o del Santo Sepolcro

新しい都市への情熱

今から約80年前、大阪市は周辺地域を合併して東京を抜き、日本最大、世界第6位のマンモス都市「大大阪」となる。時代の尖端をいく画家たちは、この時代の中之島になにを求めたのだろうか。

現代でも休日には、中之島で絵筆をとるアマチュア画家の団体を見かける。二つの川に挟まれた広い公園があり、ネオ・ルネッサンス様式を基調とした大阪市中央公会堂や、重要文化財の府立中之島図書館、日本銀行大阪支店など絵心をくすぐるモチーフが建ち並ぶ。そこには、よき時代のレトロな雰囲気が出ている。

しかし、大大阪、時代を迎えた画家たちは、現代人が感じるノスタルジーとは異なる感慨を中之島に抱いていた。発展する新しい都市の可能性に対する熱い思いである。

二科会の洋画家、鍋井克之（1888〜1969）は、大正11年（1922）に都市を描いた風景画を論じ、「この12年間私の印象から消え去らないのは、大阪の中之島の風景である」と語る。貸しボートで大川に漕ぎ出した鍋井は「水平線の向ふにある白い大きな建築物や長い人道の鉄橋などを落日の余光で眺めると、これは全く近代的な魅力を持った都会風景画である」と、中之島の景観に感心したのである。「近代的な魅力を持った都会風景画」という言葉づかいだが、鍋井には「近代的と云ふこと」はかなり魅力的であることであり、「近代的と云ふ事はいやでも次に生れて来るべきものの資格である」と断定する。

大正13年（1924）に鍋井とともに信濃橋洋画研究所を設立した小出楢重も、随筆『上方近代雑景』で「大阪の近代的な

佐伯祐三「肥後橋風景」

さえき・ゆうぞう（1898〜1928）大阪生まれ。旧制北野中学在学中に、梅田にある赤松麟作の画塾に通い、東京美術学校で藤島武二に指導を受けた。30歳の若さでパリに客死するまで、精力的に制作活動を行う。



「肥後橋風景」

（1926年／朝日新聞社蔵）

パリからの一時帰国時代の作品。手前左から朝日新聞本社、中央郵便局、日本銀行、大阪市庁舎が並ぶ。

中之島

モダン美術倶楽部

中之島をメイン会場に行われた「水都大阪2009」では、現代作家たちがめまぐるしい活躍をみせたが、戦前の大阪にも洋画・日本画・版画とジャンルを問わず、様々な画家たちが活躍する時代があった。中之島を舞台とする作品だけを見ても、その世界がいかに豊穣であったかがよくわかる。中之島がいかに大阪の美術界をリードする土地であったか、大阪大学の橋爪節也先生と共に見ていこう。

文／橋爪節也 構成／山下敦子

都市風景としては、私は大正橋や野田附近の工場地帯も面白く思うが、中央電信局中之島公園一帯は先ず優秀だといっている」とし、「大建築が増加すればするだけその都会としての構成的にして近代的な美しさは増加することと思う」と述べる。

行政も近代的な「都市美」を実現する地域として中之島界隈の整備を進めていたが、大正末から昭和初期に洋画家たちが描いた中之島風景も、小出栖重の「街景」にしろ、佐伯祐三「肥後橋風景」、国枝金三「中之島風景」にしろ、構図を工夫して、古い瓦屋根の並ぶ船場や堂島界隈の街並みを隠し、欧米の都市

であるかのように演出している。

さらにモチーフとして中之島は描かれるだけではない。新しい文化芸術の発信基地としても機能しはじめる。昭和6年(1931)、朝日ビルディングが新しく建設されたことで、信濃橋洋画研究所はそこに移り、中之島洋画研究所と改称する。同研究所は信濃橋時代の昭和2年(1927)から洋画の公募展を主催していたが、それが「全関西洋画展」へと発展する。隣接していた朝日会館も、ホールや展覽会場を有して文化芸術の重要な発信拠点となり、新しい価値を生み出していたのである。

小出栖重「街景」

こいで・ならしげ(1887~1931) 大阪の都心、長堀橋筋の業種業「天香」に生まれ、東京美術学校に学んだ。1919年に二科展出品作品「Nの家族」で樗牛賞を受賞、二科展で活躍。1921年にフランスへ留学後1924年に鍋井克之らと大阪に「信濃橋洋画研究所」を設立。



「街景」

(1925年／画像提供：ギャラリー新居)

堂島川を挟んで右が堂島浜通、左が中之島で、朝日新聞本社、大阪堂島米穀取引所、大阪府立医科大学附属病院(後の阪大病院)や、大阪ビルディングなどが描かれている。

古家新「朝の街景」

ふるや・しん（1897～1977）兵庫県生まれ。大阪信濃橋研究所で鍋井克之に師事する。大阪朝日新聞社に六年間在籍、学芸部員として挿絵などを担当する。1928年フランスに留学。パリで小磯良平らと親交を深めた。1941年二科会会員、1945年には向井潤吉らと行動美術協会を設立。



「朝の街景」

（1936年／星野画廊蔵）

影の方向から推測すると明け方に描かれたようである。徹夜明けに朝日新聞ビルから見下ろして描いたのかもしれない。

国枝金三「中之島風景」

くにえだ・きんぞう（1886～1943）大阪生まれ。山内愚僊、赤松麟作に師事、関西美術院に入り洋画を学ぶ。1916年二科展に初入選し23年に会員となる。小出栖重、鍋井克之、黒田重太郎と「信濃橋洋画研究所」を創設し後進の指導にあたる。



「中之島風景」

（1927年／大阪市立近代美術館建設準備室蔵）

この風景は、同じ年にできた8階建ての美津濃運動用品店の上からであろうか、淀屋橋付近から東を望み、中之島公園や難波橋が見える。塔のある建物は、明治34年頃に竣工した光本写真館。

公園ライフ

市民のモダン生活を象徴する
公共施設が公園である。

中之島公園は明治24年（1891）、大阪市営第一号の仮公園として開園し、明治32年（1899）に正式な中之島公園となつて近代的公園として整備されていく。

当時の中之島は、難波橋西側の「山崎の鼻」と呼ばれた地域までしかなく、難波橋以東は大川であった。大正時代に天神橋の上流まで埋め立てられ、公園も現在のように難波橋以東に中

心を移し、噴水のある整然とした西洋式の幾何学的庭園が建設されたのである。テニスコートをはじめとするスポーツ施設も設けられ、大大阪の誕生の前年である大正13年（1924）には、高名な建築家・武田五一の設計で音楽堂も建てられている。川の流れも涼しく、スポーツや文化施設も建設され、花や緑も豊かな中之島公園を、市民は散策し、ベンチで憩い、語らいあう。

院展同人（審査を経ずに出品できる作家）であつた日本画家・富田溪仙の墨画には、難波橋の西側の公園でバスケットボール

をする一団が描かれている。背景の大阪城のむこうに朝日が昇っているの、早朝、出社前のクラブ活動といったところだろうか。

逆に、版画家・浅野竹二の中之島公園の夜景には、中央公会堂や、みおつくしの鐘のあつて市庁舎のシルエットが、美しい月明かりに幻想的に浮かびあがっている。噴水のあたりを逍遙する人影には、寄り添う男女の姿もあり、ロマンチックな恋愛映画の一場面を見よう。

近代的な公園をテーマに、これらの作品は、都会に生活する遊びを、市民の目線で描いている。



「中之島公園月夜」

（1933年／大阪府立現代美術センター蔵）
中之島公園内にある噴水の先には現在のばらぞの橋が見える。大阪役所と中央公会堂が月夜にかすんで見えている。

浅野竹二「中之島公園月夜」

あさの・たけじ（1900～1998）京都生まれ。京都市立絵画専門学校で日本画を学んだ後、土田麦徳の率いる「山南塾」に入塾。1930年頃から木版画の制作を始めると、小林清親の「東京名所」に刺激を受け、日本各地の名所・行事を題材にしたシリーズ「名所絵版画」を手がけた。



「中之島公園」

（制作年不明／個人蔵）

難波橋、天神橋の向こう側に描かれているのは大阪城の櫓。中之島公園が整備されバスケットボールで楽しむ様子が描かれている。

富田溪仙「中之島公園」

とみた・けいせん（1879～1936）福岡生まれ。12歳で狩野派を学んだ後、京都に出て都路華香に入門し四条派を学ぶ。左様の図案で生計を立てながら、奈良・平安時代の仏画や中国画を研究。大正元年、第6回文展出品の「鶴舟」が入選し、横山大観に認められ院展へ参加。

池田遙邨「雪の大阪」「雨の大阪」

いけだ・ようそん（1895～1988）岡山県生まれ。1910年、大阪の松原三五郎が主宰する天彩画塾に入門。洋画を学ぶ。1914年、わずか18歳で第8回文展に水彩画「みなの曇り日」が入選。その後、日本画に転向。1928年第9回帝展にて「雪の大阪」が特選となる。1987年、文化勲章を受章。



「雪の大阪」

（1928年／大阪市立近代美術館建設準備室蔵）

現在の東洋陶磁美術館のあたりから眺めた中之島公園の雪景色を描く。手前の難波橋をカップルが歩いている。右側にある茶色いビルは大林組、その向こうには大阪府庁や大阪城の櫓が見える。

織田二磨「天神橋遠望」

おだ・かずま（1882～1956）東京生まれ。青春期を大阪で過ごす。洋画を川村清雄、石坂画を金子政次郎に学ぶ。都市風景を描く連作「東京風景」や「大阪風景」がある。1918年に日本創作版画協会、1930年に洋風版画協会を設立する。



「天神橋遠望（『大阪風景』より）」

（1918年／大阪市立近代美術館建設準備室蔵）

左側の橋は現在のばら色の橋、その奥が天神橋。晴れた東の空には大きな雲がわき起こっている。雨で波立つ波紋が水面に映し出され叙情的な雰囲気が出た。

都会に見る「叙情」

高層ビルに都市の美学を結実させた洋画家とは違い、日本画家は別の視点で都市風景を捉えようとする。

冬の朝、窓を開けたら昨夜からの積雪で、一面の銀世界にな

っていることに驚いたことは誰しもあるだろう。第9回帝展で特選となった池田遙邨の「雪の大阪」も、昭和3年（1928）2月に大阪に降った大雪を題材に、自然の生み出した素晴らし



「雨の大阪」

(1935年／京都市美術館蔵)

錦橋の向こう側には雨にかすむ市役所や淀屋橋、大阪城の天守閣が描かれている。右側前方にはモダンな色の服を身にまとった人たちが、犬を散歩させている様子が描かれていて印象的だ。

い雪の朝を描いている。

中央にシンメトリーになった中之島公園を配し、難波橋、天神橋、天満橋の浪花三大橋が画面を横切る。背後に大阪城の石垣がそびえているが、天守閣はまだ復興されていない。巡航船（外輪船）の背後のビルは、大正15年に竣工した大林組の本社。その後ろにある教会は、明治43年（1910）に建てられた大阪ハリストス正教会の生神女庇護聖堂である。

新古典主義的な整然とした構図には、社寺参詣曼荼羅など古い絵画のイメージが投影され、画面には格調の高さに加え神秘的な雰囲気さえ漂う。日本の古典絵画の美の記憶を、近代都市を描いた新しい風景として換骨奪胎した作品である。

さらに本来は黒い瓦屋根が連なる大阪の街が、雪で白一色となるとともに、ドイツから部材を輸入して組み立てられた天神橋、丘の上の教会のモチーフなどによって、童話のようなメルヘンタツチの風景に変貌する。

遙邨は雪に続き雨の中の島も描く。「雨の大阪」は肥後橋付近から土佐堀川の東を眺めた作品で、市庁舎や「美津濃」（現・

ミズノ）の本店、再興された大阪城天守閣が遠くに霞む。階段になった橋は、肥後橋の東に架かるモダンな錦橋で、川の流れを溜め、一気に放流して河川を浄化する機能を持ち、ダムとも呼ばれる。

激しい風雨の中、傘を斜めにして道を急ぐ人たち。洋犬を連れて散歩する人や、和装の婦人もいる。近代建築に囲まれた空間で、自然の美と人の織りなす風俗とが融合し、それを日本画家らしい柔らかなタッチで描く。

一方、日本画家ではないが、「雪の大阪」と同じ中之島公園の東側を自然美を強調して描くのが、織田一磨の石版画「天神橋遠望」である。天神橋の鉄橋や教会を描いたこの作品は「雪の大阪」以上に外国風で、ライン川スケッチかのように錯覚させる。遠く、夏の夕方の強い光に照り輝く雲の嶺。対照的に、手前の中之島公園の空は曇り、夕立が降っている。

建造物が建ち並ぶ人工都市においても、自然の変化や人間生活が生み出す叙情性がある。都市美を極めるとともに、自然に恵まれた中之島からは、多彩な表現の作品が誕生したのである。

大正時代末期から昭和初期にかけて多くの画家が中之島を描きました。洋画家たちは急速に高層ビルが建ち、都市化する大阪の中で、川が流れ緑あふれる中之島の地を、欧米の名だたる都会風景とも見間違うような風景画として描くことを好み、並び建つ近代建築の中にモダンイズムを求め、新しい美意識を見出したのです。

大正時代の中之島には「何か新しいものを描きたい」と思わせるような近代都市に相応しい景観があったのでしょう。本誌で紹介した富田溪仙や浅野竹二は、都市生活者の目線でスポーツや散歩の様子などを描き（共にP5）、都市で生活する喜びを表現しています。江戸時代の中之島では大川の夕涼みなどの風俗が描かれていましたが、近代になると、多くの画家たちが中之島境界の建築に魅了され、自らの目で近代的な美しさを発見し、都市の景観をモダンなものとして描いていったのです。

美術の伝統は中之島にあり。

これまで見たとおり、大阪は実は洋画のメッカです。大正末・昭和初期のモダンイズムを推進した小出栖重や鍋井克之らによって開設された「信濃橋洋画研究所」は、昭和6年（1931）に中之島の朝日ビルディングに移転し、「中之島洋画研究所」として大阪の洋画の発展に大きく貢献しました。朝日

会館で開催されていた「全関西洋画展」では、大阪の作家たちが数多く活躍したことも知られています。

戦後になりますが、昭和29年（1954）、吉原治良を中心とする前衛芸術家集団、「具体美術協会」が設立され、昭和37年（1962）には吉原の所有する土蔵を改造し、美術館「グタイピナコテカ」を中之島に開設。若手作家たちの育成にも力を注ぎ世界から有名な画家たちが訪れました。現在では大阪市立東洋陶磁美術館や国立国際美術館、大阪大学の中之島センターなどが集まり、芸術を発表し鑑賞する場、知性や感性に刺激を与える場所となっています。近代以降、中之島は美術の発信拠点として大きな役割を担ってきました。

開放的で特別な空間。

中之島のように都心の中で立ち並ぶビルや建物が美しく、それでいて自然景観にも優れた場所はそうありません。突き抜けたように広々とした空間が作り出されています。また、橋を渡ることで「島に入りこむ」という特別な感情が芽生え、別世界に移動するような感覚が味わえるのも中之島の特色です。中央公会堂や中之島図書館は、昔も今も変わらず市民に愛される人気の写生スポットになっていますが、現代の人は中央公会堂を描くことでモダンイズム時代への郷愁を確認しようとしている

のかもしれませんが。空間的にも恵まれアートが集中している街・中之島。日本屈指の内容を誇り4400点を超えるコレクションを所蔵している大阪市立近代美術館の建設が進めば、中之島はさらに強力な美術の発信拠点となるに違いありません。

画家たちの目に映った中之島。

橋爪節也談

ここまで紹介してきたように、中之島は実にさまざまな手法で、そして、それぞれの画家の思いと共に描かれてきた。一体、その理由とは何だったのか。画家たちを熱くかき立てたものは何か。監修をしてくださった橋爪節也先生に聞いた。



橋爪節也
大阪大学
総合学術博物館教授

1958年大阪市生まれ。専門は美術史で、特に近世・近代大阪の美術についてのエキスパート。編著に『モダン道頓堀探検-大正、昭和初期の大大阪を歩く』（創元社）など。

大阪市立近代美術館展覧会
「海と水のものがたり
—シニャック、福田平八郎から
杉本博司まで—」

大阪市立近代美術館建設準備室は、大阪市立近代美術館（仮称）心斎橋展示室にて、特別展を6月19日（日）まで開催中。異国の大海原から大阪の街を流れる堀川まで、水を題材とした絵画・写真・版画など約60点を展示。本誌で取り上げた国枝金三の「中之島風景」のほか、織田一磨、佐伯祐三の別作品もチェックしよう！

●大阪市中央区南船場3-4-26 出光ナガホリビル13階 観覧料：一般 500円 問い合わせ ☎06-4301-7285



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懷徳堂
プロジェクト

2011年
6月講座

追手門学院大学×ナカノシマ大学 共同連続講座

「天下の要! 大阪城の秘密〈初夏の陣〉」

講師/奥田 尚・永吉雅夫 (追手門学院大学 国際教養学部 教授)

天守閣を間近に眺めながら学ぶ、 大阪城の歴史。

天下統一をリレーした織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の3人が日本の要とした大阪城は、戦火によって再建を繰り返しながらも、今も大阪のシンボルであり、見る人たちの心を和ませる雄大な存在感を放っている。

しかし、その立地場所の意味や歴史、建築的な見方、あるいは城と共にあった城下町の様子や人々の生活などについては、まだまだよく知られているとは言えない。今夏には大阪城が物語の最重要地点となる映画『プリンセス トヨトミ』が公開されるなど、注目が高まっている今だからこそ知りたい大阪城について、歴史・文学・建築などさまざまな角度から切り込んでいく。

現在の大阪城は大阪
市や市民の寄附により
昭和6年(1931)
に竣工。写真はその
3年前から行われて
いた工事中の様子。
(大阪毎日新聞社刊
『西日本現代風景』
より)



6月10日(金)

講座①「文学から読む、信長・秀吉が見た大阪」

講師/奥田尚

戦国期にあって大阪は、経済的・軍事的な意味において、日本の中でも最も重要な場所であった。時の天下人たちは大阪という都市をどのように見て、どのような行動をとったのか。『信長公記』『太閤記』といった文学作品から明らかにする。

6月24日(金)

講座②「大坂町人的・城下町極楽ライフ」

講師/永吉雅夫

大阪城は、その眼下に広がる城下町と密接な関係にあった。人々はそこでどんな生活を営み、文化を育んだのか。また、それは他の城下町と比べてどんな特徴があったのだろうか。意外に豊かだったと言われる大阪の城下町ライフを、絵図や史料から読み解く。

大阪城が
目の前に!



「天下の要! 大阪城の秘密〈初夏の陣〉」

講師/奥田尚 永吉雅夫

日時/講座① 6月10日(金) 講座② 6月24日(金)
各回7:00PM~(開場6:30PM~)

会場/追手門学院 大阪城スクエア

受講料/各講座1,000円 定員/200名

主催/追手門学院大学 ナカノシマ大学事務局

協力/大阪21世紀協会

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学6月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら!→



お問い合わせ ☎06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)



BMCが偏愛する戦後ビルの魅力を詰め込んだ「月刊ビル」の販売も。高岡さん、吉村常務、岩田さん（左から）にBMCのメンバーも加わり、記念写真。大阪のビルを愛し、考える人びとの揃い踏みである。

2011年3月18日(金)

「ダイビルをめぐる冒険」

◎中之島ダイビル

講師／高岡伸一 岩田雅希（ビルマニアカフェ）

大 大阪時代を象徴した名建築ダイビル。戦後ビルの美を体現した堂島浜の新ダイビル。そして、シマの新たなシンボルタワーとなった中之島ダイビル。大阪の街とともに歩んできたダイビルの軌跡をひも解こうと開かれたナカノシマ大学3月講座。講師は、2度目の登場となるBMC（ビルマニアカフェ）から、高岡伸一さんと岩田雅希さん。2人が水先案内人となった「ダイビルをめぐる冒険」は、歴史を振り返るばかりでなく、これからのビル建築や中之島のまちづくりまでを考えさせる内容となった。

ダイビルは1925年（大正14）、大阪商船（現・商船三井）の本社として、中之島に誕生した。設計は巨匠・渡辺節、製図主任は戦後に名を馳せる村野藤吾、さらに構造設計の大家・内藤多伸という当時最強のチームだった。

「効率と合理性を重視するリアリスト」だった渡辺の特徴は、装飾的な部分とシンプル部分、そのメリハリにあったと



会場は中之島ダイビルの1室。古い建物が多いいつもの講座とは対極の最新の設備を体感しつつ。

いう。飾る部分は徹底的にやる。たとえば、壮麗な彫刻を施したエントランスやエレベーターホール。まだ珍しかったビル商店街、最上階には豪華な社交場もあった。「同時代の大江ビルや堂島ビルもそうですが、オフィスビルは当時の最先端建築。複合機能を持ち、都市のシンボル、憧れでした」と高岡さん。

ここにあった事務所働き、ビルの最晩年を見届けたのが岩田さん（ちなみに月刊島民編集部も）。大大阪時代を伝える喫茶店の運営にも関わった縁で、この名建築を愛する多くの人の想い出に触れ

た。「歴史を慈しむ幸せな時間を過ごせました」と泣かせる言葉。

— 方、村野が設計した1958

年（昭和33）の新ダイビルは、シンプルな外観の中、随所に建築的美意識を盛り込んだ戦後ビルの



中之島3丁目共同開発を語る吉村常務。「ウエスト」には1000坪の広場を設ける予定とか。

典型だった。横に連続する窓、四方に配置した羊の彫刻、美しい階段、奔放なデザイン感覚がさく裂した屋上の造形物…。この感覚はBMCの面々の大好物だが、岩田さんはもう一つ、御堂筋ダイビルの素晴らしさを挙げた。この時代らしい総ステンレス貼り、今も現役のビルは、既存物件を買い取り、テナントビルに改修したものだそう。

こうした歴史とリッチ感を継承しつつ、タワー時代に対応したのが2009年の中之島ダイビル。2013年には、旧ダイビルを保存活用した「中之島ダイビル・ウエスト」も完成の予定。高岡さんは「ダイビルの歴史を伝えるミュージアムを」「新たに建てる際はその時代で最高のビルを」と期待を語る一方、戦後ビルが顧みられず次々消えていく現状に警鐘も鳴らした。最後に登場したダイビル株式会社の吉村哲常務は、中之島ダイビル建設の経緯や、関西電力などと進める中之島3丁目共同開発について解説してくれた。

「ビルを知ればダイビルがわかる。ダイビルを知れば大阪のビルがわかる」。高岡さんの言葉どおりの講座となった。



熱心なビルマニアたちで「月刊ビル」も売れ行き好調。講座終了後はビル内探索へ三々五々。



淀屋橋駅直結の複合型商業施設「淀屋橋odona」の2階にある情報発信スペース「アイ・スポット」では、大阪の歴史に関する展示が無料で見られるほか、月刊島民をはじめとするフリーペーパーなど街の情報も集まっています。さらに、毎月さまざまなミニセミナーも開催。会社帰りに、街遊びのついでに、ぜひお立ち寄りください！

●5月のイベント

5/12 (木) 7:00PM~8:30PM

月刊島民淀屋橋編集会議 第1回 「タウン誌のつくり方」

講師／月刊島民プレス

月刊島民編集部による新たなメディアがスタート。参加者の方々とコミュニケーションしながら、街の楽しみ方、街ネタの伝え方などを考えていきます。いわば読者参加型の公開編集会議のようなノリ。第1回は「タウン誌のつくり方」。月刊島民ファンだけでなく、いろいろな形で情報発信に関わる方々、お集まり下さい。毎回登場するゲストにもご期待！



5/30 (月) 7:00PM~9:00PM

御堂筋Talkin' About vol.5 「ナカノシマの水辺」

話題提供／松本 拓 (NPO法人水都OSAKA・水辺のまち再生プロジェクト理事)
ナビゲーター／生駒伸夫 (生駒ビルディング)

小川 清 (平岡珈琲店) 山納 洋 (大阪ガス)

「御堂筋Talkin' About」は、あるテーマについて興味・関心を持つ人たちが集まり語り合う「サロン」です。今回は中之島界隈の水辺の魅力、ポテンシャル、活用可能性について話し合います。



●パネル展示

「CASBEE大阪 OF THE YEAR」

顕彰建築物パネル展示 5/30 (月) まで

CASBEE大阪(大阪市建築物総合環境評価制度)に基づき届け出された民間の建築物のうち、特に評価が高い作品を「CASBEE大阪 OF THE YEAR」として紹介しています。

第30回大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)

入賞作品パネル展示 5/12 (木) まで

周辺環境の向上に貢献し、かつ景観上優れた建物やまちなみを、広く一般から公募。その中から大阪市長賞をはじめとする各賞の受賞作品を紹介します。

大阪市拠点開発パネル展示

5/13 (金) ~ 5/31 (火)

「うめきた」や「夢洲・咲洲地区」でこれから行われる開発や、大阪市の成長戦略に関するパネルを展示します。

◎予約は不要です。当日会場にお集まりください！(参加無料)

アイ・スポット 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋odona2階 ☎06-4866-6803 開館時間：11:00AM ~ 9:00PM (土・日・祝 ~ 8:00PM)

地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅10番出口直結 京阪本線「淀屋橋」駅徒歩1分

月刊島民がiPad で見られるよう になりました！

フリーマガジンとしておなじみの『月刊島民』がついにiPad用のアプリとして登場！無料でダウンロードして読めるように。毎月1日前後に最新号をリリース。iTuneストアで「月刊島民」と検索し、アプリをダウンロードするだけで、簡単に手に入れることができます。

- ワンタッチで拡大、スクロールもしやすく便利。
- ツイッター機能もついて、誌面や中之島についての情報発信も。
- 「今月は取り忘れた！」という時でもすぐに入手可能。

21世紀の懐徳堂プロジェクト

5月の時間割

ナカノシマ大学ほか、
中之島周辺の「学びの場」の時間割をご紹介します。



大阪カルチャークラスター!!

大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、大阪にあるカフェやギャラリーなどで独自に企画・運営を行っている講座・ワークショップを一堂に集め、紹介していきます。

8	日	1:00PM~ 2:30PM 3:00PM~ 4:30PM	「紅茶教室」Yuriko (ティーコーディネーター) 参加費: 各2,000円 (お菓子作家HIKEの焼き菓子付き)	会場 B
9	月	7:00PM~ 9:00PM	「会社帰りの陶芸教室【蕎麦皿】」辻 久悟 (陶芸教室 (Room Room) 主宰) 参加費: 4,500円	会場 G
11	水	6:45PM~	「free conversation」Richard Farmer (大阪府立大学講師) 参加費: 2,000円 (お茶付き)	会場 H
15	日	12:00PM~ 2:00PM	「ロカの弁当」刊行記念 木村緑さん ライブクッキング&トークショー&サイン会 参加料: 3,000円 (ランチ、書籍付き)	会場 I
15	日	1:00PM~ 5:00PM	「おやゆび姫刺しゅうのワークショップ」annas / かわばたあんな (刺繍作家) 参加費: 4,200円	会場 F
17	火	7:30PM~ 9:00PM	「石原正一のヨミすぎ! ~古今東西名作朗読会~」石原正一 (役者・作演出家) 受講料: 1,500円	会場 A
18・29	水 白	1:30PM~ 6:00PM	「動物のポーチをつくりましょう」IRIIRI (にんぎょう作家) 参加費: 4,200円 (お茶とお菓子付き)	会場 F
21	土	10:00AM~ 12:00PM 2:00PM~ 4:00PM	「工作教室Coppa!!—木っ端でビー玉迷路をつくろう!」ムラバヤシケンジ (木彫アーチスト) 参加費: 1,800円	会場 D
21	土	7:00AM~ 8:30AM~ 10:00AM~ (約1時間)	「中之島の水辺で「水上さんぽ」」奥谷 崇 (インストラクター) 参加費: 3,000円 (レンタル一式+保険+協力金)	会場 C
22	日	11:00AM~ 2:00PM 4:00PM~ 7:00PM	「ボーボー屋料理教室【沖縄料理】」中東ゆうこ (「ボーボー屋」店主) 参加費: 3,800円 各回6名限定	会場 G
24	火	7:00PM~	「聴いて読む&洋書絵本を読む」山崎一郎 (翻訳家) 参加費: 1,500円 (お茶付き)	会場 H
24	火	7:30PM~ 9:00PM	「モーリス・ブランショ『明かえぬ共同体』を読む」 江弘毅 (月刊島民編集長) × 山納洋 (common café) 参加費: 500円	会場 A
28	土	2:00PM~ 4:00PM	「健康講座~自分のカラダを自分で治す」合田光男 (国際東洋医療専任講師) 受講料: 2,000円 (テキスト、施術道具つき)	会場 E
29	日	11:30AM~ 1:00PM 2:00PM~ 3:30PM	「ワイン教室【自然派ワイン・入門】」坂東 武子 (「ばんどう酒店」店主) 参加費: 4,000円	会場 G
29	日	2:00PM~ 3:30PM	「初心者のためのウクレレ教室」松井朝敬 (スイートストリングス) 受講料: 2,000円	会場 E

A common cafe

大阪市北区中崎西1-1-6 吉村ビルB1F
☎06-6371-1800

<http://www.talkin-about.com/cafe/>

B 雑貨屋Biscuit cafe

大阪市北区中崎西1-9-24 中崎ハウス202
☎090-9254-1223

<http://biscuit-cafe.com/>

C 若松の浜

(集合) 大阪市北区西天満1-13-14 エフアイビル1F
☎06-6125-0550 (アクアスタジオ)

<http://aquastudio.jp/>

D morrison(studio)

大阪市福島区吉野4-20-13
☎080-3113-4816

<http://webmorrison.com/>

E フレイムハウス

大阪市中央区淡路町1-6-4
☎06-6226-0107 misalele39@gmail.com

<http://www.katana.cx/~fureimu/>

F タビエスタイル

大阪市中央区南船場4-4-17 B1
☎06-4963-7450

<http://www.5f.biglobe.ne.jp/~tapie/>

G ボーボー屋

大阪市西区北堀江1-14-21 鳥かごビルディング2F
☎06-6531-7827

<http://www2.odn.ne.jp/ippuku-popo/>

H 貸本喫茶ちようちよぼっ

大阪市西区北堀江1-14-21 鳥かごビルディング4F
<http://www.geocities.co.jp/chochobocko/>

I スタンダードブックストア

大阪市中央区西心斎橋2-2-12
クリスタグランドビル1F BF
☎06-6484-2239

<http://www.standardbookstore.com/>



レクチャー&対話プログラム「ラボカフェ」

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェ風ワークショップを行っている、
京阪電車中之島線なにわ橋駅地下1階の「アートエリアB1」。5月のラインナップはこんな感じ。

4	水	1:30PM～ 4:00PM	ビブリオバトル「喫茶大阪大学」 定員：30名程度
10	火	7:00PM～ 9:00PM	シアターカフェ『異邦人』を語る 定員：30名程度 ゲスト：こまのはえ（京都舞台芸術協会）
11	水	7:00PM～ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／哲学カフェ「震災について、今私たちが考えたいこと」 定員：50名程度
17	火	7:00PM～ 9:00PM	プロジェクト・ミーティング「大阪に、中之島に必要な美術館を考える 3／市民参加とは？」 定員：30名程度 ゲスト：菅谷富夫（大阪市立近代美術館建設準備室研究副主幹）
18	水	7:00PM～ 8:30PM	歯医者さんとカフェ「どうするの？上手な歯みがき」 定員：30名程度 ゲスト：津雲孝子（文元歯科医院・歯科衛生士）
24	火	7:00PM～ 9:00PM	鉄道カフェ「鉄道とスイーツ」 定員：30名程度
25	水	7:00PM～ 9:00PM	アートカフェ「笑いについて」 定員：30名程度
27	金	7:00PM～ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／セミナー「自閉症スペクトラム障害とのつきあい方？」 定員：50名程度 ゲスト：竹内慶至（金沢大学 子どものこころの発達研究センター特任助教）

会場／アートエリアB1 参加費／全て無料 開場／それぞれ30分前から 問い合わせ／[カフェの内容について] 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD) ☎06-6850-6632 [場所などについて] アートエリアB1 ☎06-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



大阪大学
21世紀
懐徳堂

大阪大学21世紀懐徳堂

●Handai-Asahi 中之島塾 大阪大学が朝日カルチャーセンターと共催しているセミナーです。

14・21	土	10:30AM～ 12:00PM	「武将たちの医療」内野花（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師） 受講料3,150円(全2回)
--------------	---	---------------------	--

会場／大阪大学中之島センター インターネット、電話、ファックスか、朝日カルチャーセンターの窓口でも直接申し込むことができます。http://www.asahiculture.com/nakanoshima/index.html ☎06-6222-5224 FAX06-6222-5221 問い合わせ／朝日カルチャーセンター（中之島）☎06-6222-5224

●大阪・京都文化講座(前期)『大坂・京の文彩—文学が織りなす二都のすがた—』立命館大学と共同で行う連続講座です。

9	月	2:00PM～ 3:40PM	「近畿のことがばが地方に広まる」彦坂佳宣（立命館大学文学部教授）
16	月	2:00PM～ 3:40PM	「源氏物語と住吉」加藤洋介（大阪大学大学院文学研究科教授）
23	月	2:00PM～ 3:40PM	「天保15年の紀行文—京・大坂周辺を読む—」中西健治（立命館大学文学部教授）
30	月	2:00PM～ 3:40PM	「幕末・明治期の漢文学と京・大坂の詩人たち」合山 林太郎（大阪大学大学院文学研究科講師）

会場／立命館大阪キャンパス 受講料／1回2,000円（7回以上一括申込の場合13,000円） 定員／各回98名
申し込み・問い合わせ／立命館大阪オフィス ☎06-6360-4895 FAX06-6360-4894 ※詳しくはhttp://www.ritsumeiji.jp/life-09/e09_10kyo.htmlまで。

●大阪大学×大阪ガス アカデミクッキング「専門分野の講義」&「料理実習」で「学問するココロ」が実践的に身につきます。

6/22	水	6:30PM～ 9:00PM	「18世紀イタリアオペラにみる異国趣味～“野蛮な異国”と“理想化された異国”の狭間で～」 山田高誌（大阪大学大学院文学研究科助教） 課題料理＝モロッコ風料理
-------------	---	-------------------	---

会場／大阪ガスクッキングスクール千里 受講料／1,500円
申し込み・問い合わせ／大阪ガスクッキングスクール千里 TEL06-6871-8561 http://www.og-cookingschool.com/

医師になれば、当然、患者の看取りもしなければならぬ。それまで私は人の死に目にあつたこともなければ、死にそうなる人を見たこともなかった。前回書いたように、大病院は治療の見込みのない患者は診ないので、あまり人は死なない。研修医が患者の死に遭遇するのは、当直のアルバイトに行く一般病院が多かった。

2004年からはじまった臨床研修制度では、研修医のアルバイトが禁止されている。だが、私のころは当直のアルバイトが大いに実地の勉強になっていた。入院患者と救急の外來患者を一晩、自分1人で責任を持つのだ。いわば真剣勝負で責任も重大。ひとつましがえは患者の生命にも関わるので緊張した。

患者にすれば、未熟な研修医に命を預けるのだから、緊張どころではないだろう。そんな危険な状況は許せないとマスコミが騒ぎ、研修医のバイトを禁止したのが、先の臨床研修制度である。しかし、実際には、研修医の当直はさほど危険ではなかった。研修医は自信がないので、何かあればすぐその病院の医師を呼ぶからだ。当直はいわば踏切番のようなもので、最後まで1人で対処するわけではない。それを過度に危険視して、研修医のアルバイトを禁じたため、ベテラン医師の当直が増え、過重労働になって、現場を逃げ出したのが昨今の医療崩壊の一因。研修医はアルバイト収入がなくなるので、それを補うために、給料が30万円ほどに設定され、彼らを指導する助教の給料より上になって、指

導医が熱意を失うという弊害も出た。

当直のアルバイトに行くと、まずその病院の医師から重症患者の申し送りを受ける。そのとき、「この患者は儀式を」とか、「家族が納得してるから儀式はいらない」などと言われる。

「儀式」とは、いわゆる心臓マッサージや強心剤などの蘇生処置のことだ。がんや老衰で死を迎えようとしている患者には、実際問題、蘇生処置はあまり意味がない。しかし、ぼーっと見ているわけにもいかないので、形だけの蘇生処置をする。痩せた老人などは、本気で心臓マッサージをすればすぐに肋骨が折れる。だから

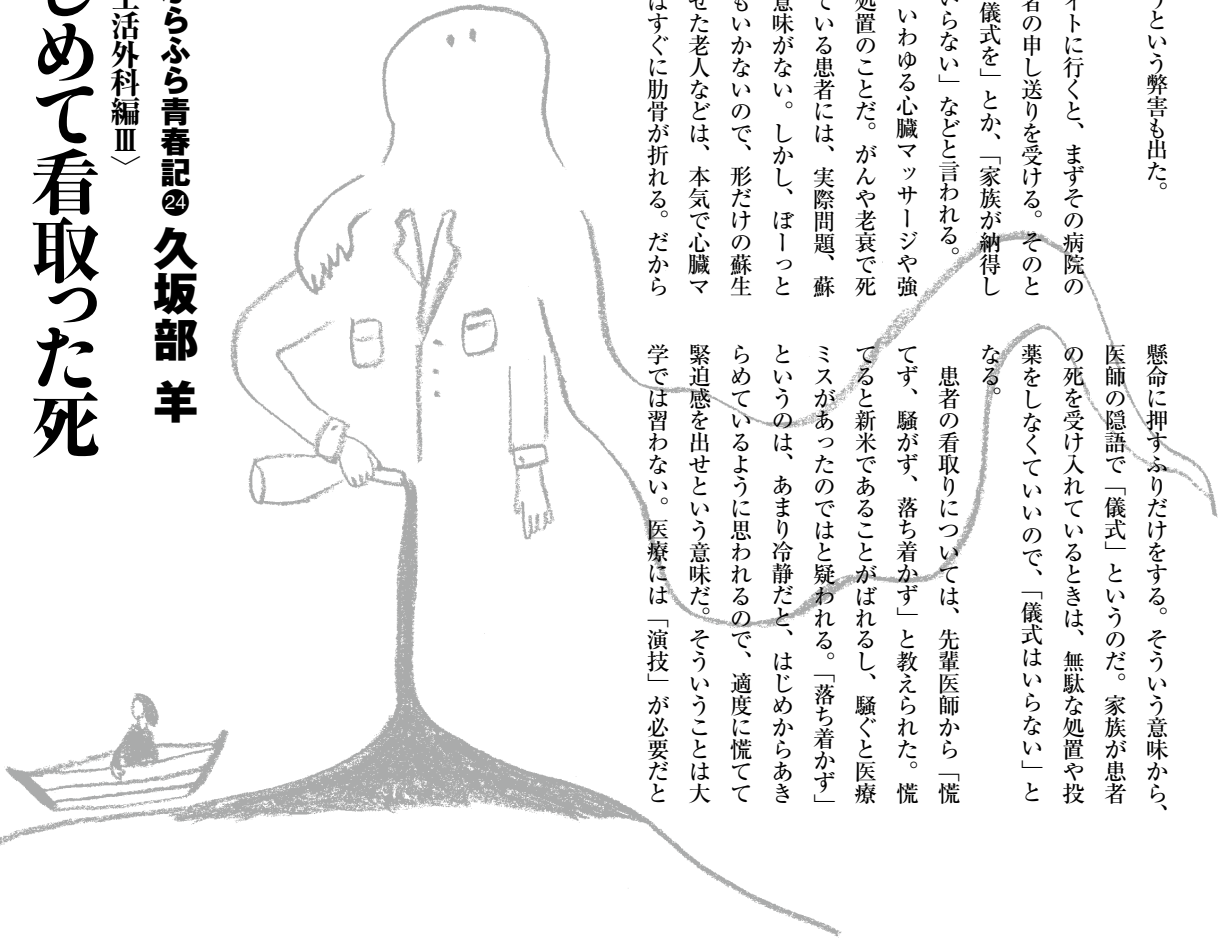
懸命に押すふりだけをする。そういう意味から、医師の隠語で「儀式」というのだ。家族が患者の死を受け入れているときは、無駄な処置や投薬をしなくていいので、「儀式はいらない」となる。

患者の看取りについては、先輩医師から「慌てず、騒がず、落ち着かず」と教えられた。慌てると新米であることがばれるし、騒ぐと医療ミスがあつたのではと疑われる。「落ち着かず」というのは、あまり冷静だと、はじめからあきらめているように思われるので、適度に慌てて緊迫感を出せという意味だ。そういうことは大学では習わない。医療には「演技」が必要だと

中之島から青春記²⁴ 久坂部 羊

〈研修医生活外科編Ⅲ〉

はじめて看取った死



いう、現場ならではの教育だった。

臨終を告げるタイミングも注意を要する。人間は死が近づくと「下顎呼吸」といって、顎を突き出すような呼吸になる。それが徐々に間遠になって、死を迎える。テレビや映画のように、「うう、ガクッ」というような死に方はぜったいにない。呼吸が止まったと思って、早まって「ご臨終です」と告げると、そのあとで患者が最後の呼吸をして、「あ、まだ生きてる」と家族が取り乱す。だから、臨終は患者の息が止まって、十分に死にきるのを待ってから告げると教えられた。心電図も同じで、正常な波が徐々に遅くなり、間隔が開いてやがて平坦になる。そこで臨終を告げると、何かの拍子にけいれんのような波がビヨコンと出る。するとまた「あ、まだ」となるので、臨終を告げたら、すぐに心電図のスイッチを切れと言われた。

私は運がいいのか悪いのか、なかなか患者の臨終に巡り会わなかった。早々に経験した研修医は、そのようすを興奮気味に語り、何か箔をつけたようで、未経験者より一段上にいる感じになる。

私のはじめての看取りは、研修をはじめて半年以上もたつてからだった。当直の看護師から連絡を受け、病室に行くと、患者はすでに下顎呼吸だった。通常、亡くなる患者は周囲への影響に配慮して、個室に移っていることが多い。しかし、その女性は大部屋にいた。生活保護で

個室に移る余裕がなかったからだ。身寄りもなく、付き添う友人や知人もいなかった。当直の看護師はベテランで、私が看取りがはじめてなのを見抜いたらしく、「心電図をつけましょうか」とか「瞳孔は散大してますか」とか、上手に私を誘導してくれた。おかげで私はすべきことを滞りなく行い、付き添う家族がいないので「儀式」もせず、無事に看取りをすませた。

女性も赤ら顔で、太っていて、縮れた黒い髪が耳の両側に広がっていた。生体反応をすべて終えた彼女に臨終を告げたとき、私はこの人がどんな人生を送ったのかと思わずにはいられなかった。私は彼女の人生の最後に偶然立ち会い、何も知らずに、ただ臨終を告げた。医師としてそれでいいのか。もう少しこの人のことを知り、その死を悼む必要があったのではないか。家族にも友人にも見送られず、ただ1人で逝ったこの人。

はじめての看取りは、私に今も忘れ得ないほど強い印象を残した。それから何人、当直のアルバイトで患者を看取っただろう。最初の衝撃はすぐに薄れ、「儀式」にも慣れ、家族を納得させる演技も身につけた。自分が主治医だった患者は別として、アルバイトで看取った患者の顔はほとんど思い出せない。それでいいとは思わないが、致し方ないと思う。患者の死に慣れないことには、この仕事はとてつねに続けられない。慣れが恐ろしいことも、自戒はしてはいるけれど。

当直のアルバイトでは、救急外来の患者も診なくてはならない。救急車が来る連絡を受けると、先に症状を聞いて、患者が来るまでに『今日の治療指針』という本の該当箇所を必死で調べる。この本は電話帳くらいの大きさで（今は辞書くらいのポケット版がある）、全科のほぼ全疾患の治療法が載っている。それで知識を詰め込んで、患者が到着したら、落ち着き払って診察するのだ。つい今仕入れた知識を、ずっと前から知っているような顔をする演技も、このときに身につけた。

アルバイトでは病人ばかりでなく、怪我人も診た。変わったところでは、ヤクザの指ツメの後始末もした。指ツメは鋭利な刃物で切断するので、切り口は平らになる。これでは縫えないので、まず骨切り鋏で断面に見えている骨を1センチほど削る。そして皮膚を「魚口状」（魚の口のように上下が半円形）に切って、先端が丸くなるように縫うのだ。このとき、事前に「骨を切る分、指は今より少し短くなりますよ」と説明しておかないと、あとで怒るヤクザがいるから注意しろと先輩医師に言われた。

ヤクザの指ツメはけっこう多く、私は4人縫った。中の1人は左の薬指だった。両方の小指はすでにツメであり、3度目の不始末だったようだ。あんな、この世界に向いてないんじゃないのと思ったが、当人は「もう二度とヘタは打たねえ」とまだまだヤル気のようなうだった。

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。

麻酔医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』（幻冬舎文庫）でデビュー。

現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える

契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。

「講談社の季刊誌『g2』に『世界—おもしろい医学概論』というのを連載しています。今回は「肺」のお話。

肺胞の総面積は3LDKのマンションより広いとか、肺がんはがんもどきみたいとか、見聞を交えて書いています。」

楽

器商や工房が集まる天満橋の通称「天満村」。その始まりが高麗橋の老舗楽器店にあったことは、本誌31号の特集でも触れた。若き日そこで修業した天満村の古参・馬戸修さんによれば、「日本ではじめてストラディバリウス（註）を紹介した店」。天満村から西へ300メートルほど、東横堀川の端にある弦楽器輸入商「丸一商店」を訪ねてみた。

迎えてくれたのは3代目の礒田光一社長。「うちは昭和2年（1927）、祖父の一郎がバイオリンの輸入販売を手掛けたのが始まり。道修町の丸善楽器店の社長さんの勧めだったそうです」というわけで、当初はたった1人で「丸善楽器器部」を名乗っていたとか。一般家庭へのバイオリン販売など望むべくもない時代だったが、葉間屋で調達した特製の試験管にドイツの高級弦を入れ、1本1本売り歩いたという熱意が実り、徐々に軌道に乗る。

10年後には会社を設立。世話になった丸善楽器店の「丸」と、創業者の名の「一」を組み合わせて屋号とし、管楽器やピアノなど手広く扱うようになった

あの名器を 日本で初めて 紹介した 老舗があった。



「ブランド志向に偏らず自分に合った、楽しい楽器を」と礒田社長。

丸一商店

楽器輸入商としては大阪だけでなく、全国で最も古い会社の一つ。ヨーロッパ各国の弦楽器を仕入れ、古いものは工房でリペアを施して販売。バイオリンの聖地クレモナで学んだ作家・鈴木郁子さんも仕事場を置き、月に1回、土曜日にイタリア製楽器を紹介している。5月26日（木）には東横堀川の水辺イベント（P17）の一環で、ピアノコンサート（12:30PM～6:00PM）と店内公開（1:00PM～6:00PM）を開催（無料）。☎06-6201-0043 日・祝休



工房の目の前は東横堀川の水門。明るい陽が差し込む中、黙々と作業は進む。背景の写真は社内に飾ってある、名器「Ex Park」の絵と歴代所有者を記した額。

ていった。一時は大阪フィルの事務所も置かれ、名指揮者・朝比奈隆もよく出入りしていたという。

バイオリンの最高峰とされるイタリアの名器、ストラディバリウスを扱ったのは昭和39年（1964）。高度成長の真っただ中、人びとが音楽を通して豊かさを実感し始めた時代だった。

「Ex Park」という愛称の付いたこの楽器の製作年は1717年。ヨーロッパで15人の手を渡った後、丸一商店がドイツの業者から仕入れ、東京芸術大学に売った。いまでも大学の宝として大切にされている。「当時で1000万円ほど。実はこの1年前にもう1つ、東京芸大の依頼で仕入れたんですが、うまく値段の折り合いがつかず、どこか別へ売ったそうです」と礒田社長。

とはいえ、古く高級な作家物だけを扱ってきたわけではない。「新作やメーカー製も扱いますし、日本人作家のものも積極的に紹介していきたい。弾く人それぞれの好みや価値観に合った楽器があるんです」。

求める人にとって、いちばんよい物を。創業者が葉間屋に学び、後世に伝えたのは、大阪の老舗らしい「商う姿勢」なのかもしれない。

（註）ストラディバリウス
イタリアのアントニオ・ストラディバリ（1644～1737）が製作した弦楽器のこと。名器の代名詞。バイオリンで1200挺あるといわれる。

トウミン月報

2011年5月1日発行

大阪通を自称するあなたに



なにわなんでも大阪検定 試験日/7月10日(日)
受験申込期間/6月1日(水)まで
受験料/3級:3,300円 2級:4,400円 1級:6,300円
問い合わせ/なにわなんでも大阪検定事務センター
☎06-6452-7728 ●詳しくは<http://www.osaka-kentei.com/>

「なにわなんでも大阪検定」は、大阪が持つ歴史・文化の奥深さを再発見し、様々な大阪の魅力をj知ることを目的とした検定試験で、2009年から始まり今年で早くも3回目を迎える。合格者には受験級に応じ、合格証が進呈されるほか、大阪府下のホテルや施設などでの割引、招待など、様々な特典が受けられるのが好評だ。

現在あるものと、昔のものが入り混じっているのが大阪の良いところなんや」など、大阪生まれ大阪育ちの受験者からも、この検定をきっかけに大阪の知られざる歴史や文化を知り、驚きの声があがっているぞうだ。

- まちなかコンサート
5月12日(木) 相愛大学トランペットアンサンブル「Octo」
@銀泉備後町ビル公開空地
5月19日(木) 相愛大学サクソアンサンブル
@京阪神不動産御堂筋ビル
5月26日(木) 女声ボーカルユニット「Ortensia」(写真)
@京阪神不動産御堂筋ビル(いずれも0:10PM~0:55PM)



- 御堂筋放談
「クリエイティブ・デザインの可能性 一御堂筋からの発信」
喜多俊之(プロダクトデザイナー)
5月31日(火) 6:30PM~7:30PM
@三井住友海上大阪淀屋橋ビル
●御堂筋写真展 @銀泉備後町ビル(※土・日を除く期間中)
●安心減災の御堂筋デザイン展
5月11日(水)~6月3日(金)(※土・日除く)
@銀泉備後町ビル、京阪神不動産御堂筋ビル、大阪ガスビル

ランチタイムは御堂筋へコンサートを聴きに♪

中之島の真ん中を貫く大阪のメインストリート御堂筋。ここに社屋やビルを持つ企業31社による「御堂筋まちづくりネットワーク」が、コンサートや写真展などのイベント「スプリングギャラリー」を開く。

2006年に住民やショップのオーナー、地元企業などが集結し発足した東横堀川水辺再生協議会。通称「e-yoko会」と呼ばれ、「まちなか」に生きる東横堀川」を目指し、市民向けのシリーズ講座や季節ごとに水辺を楽しむイベントの開催など、川を生かしたまちづくりに積極的に取り組んでいる。

そのe-yoko会によるイベント「e-yoko道通」が、大好評だった昨年に引き続き、パワーアップして今年も開催される。それぞれに趣向の異なるまちあるきツアーやワインバーでのテイティング講座、レトロ建築ビル特別案内ツアーなど、60にも及ぶ体験プログラムを通して水辺とまちの魅力を存分に堪能することができ。大阪城の外堀と

散歩しながら水辺の魅力を知る!



志・本誌) 摩寿意英子を筆頭に、出演者も実力派揃いだ。(金哲

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート
開催日時/5月7日(土) 2:00PM~4:00PM
会場/大阪倶楽部
出演者/摩寿意英子 望月哲也
ト部俊子 多田恵美子カルテット
入場料/3,000円(日本赤十字社を通じ
全額義援金として寄付)
定員/230名(先着順)
問い合わせ/大阪倶楽部チャリティー・コンサート担当☎06-6231-8365

被災地へ祈りを!



e-yoko道通2011 ~水辺とまちの魅力を楽しむ1カ月~
開催日/期間/5月14日(土)~6月14日(火)
問い合わせ/大阪商工会議所
地域振興部☎06-6944-6323
●プログラムなど、詳しくは
<http://e-yokobori.jp>



して開削され、現在は一軒な民営資料館や老舗が立ち並ぶ堀川・東横堀川界隈の魅力を再発見する絶好の機会となりぞうだ。(金哲志・本誌)

大阪・中之島、水辺に生まれる地上36階、オール電化、オーダーメイド対応タワーレジデンス

「クレヴィアタワー中之島」

販売価格(税込) 2LDK 56.51㎡ 2,600 万円台～

販売価格(税込) 3LDK 72.53㎡ 3,500 万円台～

販売価格(税込) 3LDK 86.17㎡ 4,200 万円台～

販売価格(税込) 3LDK 最上階 110.53㎡ 9,300 万円台

モデルルームオープン!!

■物件概要 ●名称/クレヴィアタワー中之島●所在地/大阪市福島区福島3丁目1番4(地番)●交通/京阪中之島線「中之島」駅徒歩4分、JR東西線「新福島」駅徒歩5分、阪神本線「福島」駅徒歩5分、JR環状線「福島」駅徒歩8分●地域・地区/商業地域●分譲後の権利形態/建物専有部分は区分所有権。敷地及び共用部分は専有面積持分割合による所有権の共有●敷地面積/2,281.16㎡●建築面積/1,109.21㎡●建物延床面積/29,265.83㎡●構造・規模/鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上36階建●総戸数/250戸●建築確認番号/第BCJ10大建確002号(平成22年4月21日付)●事業主(売主)/伊藤忠都市開発株式会社 国土交通大臣(3)第5744号・(社)不動産協会会員・(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号(伊藤忠ビル) TEL.06-6241-3630、野村不動産株式会社 国土交通大臣(11)第1370号・(社)不動産協会会員・(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟、大阪支店 住宅販売部 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1丁目4番4号(野村不動産四ツ橋ビル15階) TEL.06-6538-5610、関電不動産株式会社 国土交通大臣(2)第6379号・(社)不動産協会会員・(社)大阪土地協会会員・(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟〒530-6691 大阪市北区中之島6丁目2番27号(中之島センタービル13階) TEL.06-6446-8822●販売提携(代理)/伊藤忠ハウジング株式会社 国土交通大臣(12)第803号・(社)不動産流通経営協会会員・(社)不動産協会会員・(社)首都圏不動産公正取引協議会加盟〒541-0054 大阪市中央区南本町4丁目2番21号(イビビル3階) TEL.06-6245-3282、野村不動産株式会社●設計・監理/浅井謙建築研究所株式会社●施工/鹿島建設株式会社●管理会社/伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社 マンション管理業者登録、国土交通大臣(2)第030045号、(社)高層住宅管理業協会会員●建物竣工予定/平成24年9月下旬●入居予定/平成24年12月中旬■第1期販売概要●販売戸数/110戸●販売価格(税込)/2,540万円(1戸:55.74㎡)～10,990万円(1戸:120.12㎡)●最多販売価格帯(税込)/3,200万円台(12戸)●間取り/1LDK～3LDK●住居専有面積/55.26㎡～120.12㎡●バルコニー面積/6.01㎡～24.83㎡●管理費(月額)/11,770円～25,590円●修繕積立金(月額)/3,870円～8,410円●修繕積立基金(引渡し時一括)/221,040円～480,480円●管理準備費/18,000円●インターネット利用料(月額)/1,800円●ホームセキュリティ費(月額)/525円●駐車場/152台(賃貸)●電気自動車充電専用/バレット2台含む(月額使用料/24,000円・28,000円)●バイク置場/50台(うち大型バイク8台)バイク置場月額使用料/2,000円、ミニバイク置場月額使用料/1,000円●自転車置場/500台(月額使用料/100～500円)●分譲後の管理形態/区分所有者全員により管理組合を結成し、管理会社に業務委託予定。●登録申込受付期間/平成23年4月16日(土)～4月23日(土)※4月20日(水)は通常通り営業●登録申込受付時間/平日11:00AM～7:00PM、土・日・祝10:00AM～6:00PM(ただし最終日11:00AM締め切り)●抽選日時/平成23年4月23日(土)12:00PM～●登録受付・抽選場所/「クレヴィアタワー中之島」マンションギャラリー●取引条件の有効期限/2011年4月30日 ※表示内容については2011年4月20日現在のものです。

事業主(売主)・販売提携(代理)

野村不動産

事業主(売主)

関電不動産

販売提携(代理)

伊藤忠ハウジング

■お問い合わせ先は、「クレヴィアタワー中之島」マンションギャラリー

0120-264-250
営業時間 AM11:00～PM7:00(平日) AM10:00～PM6:00(土・日・祝) (水曜日 定休)

CREVIA

クレヴィアタワー中之島

Rihga Royal Hotel
リーガロイヤルホテル

Kansai Electric Power Hospital
関西電力病院

ABC Asahi Broadcasting Corporation
朝日放送

Hotarumachi
ほたるまち



4線4駅利用可能

京阪中之島線

「中之島」駅 徒歩 4分

阪神本線

「福島」駅 徒歩 5分

JR東西線

「新福島」駅 徒歩 5分

JR環状線

「福島」駅 徒歩 8分

※ 距離表示については地図上の概測距離を、徒歩分数表示については80mを1分として算出(端数切り上げ)したものです。

※掲載の外観完成予想図は設計図面を基に描きおこしたものと、現地周辺の写真(2010年10月撮影)をCG処理により合成したもので、実際とは異なります。また、施工上の都合により、外観の形状・仕上・植栽・色彩等を変更する場合があります。また、面格子・アンテナ・避雷針・雨樋・溝・ドレン・一部手摺・物干金物・排水勾配・照明器具・給湯器・消火水槽・その他施設機器等の表現を省略しております。また周辺の建物についても省略しています。尚、四季の植栽計画を同時に表現したものであり、特定の開花状況を示すものではありません。

事業主(売主)



伊藤忠都市開発

京阪沿線 島民の部屋から。

取材・文／松本 創（本誌）
写真／李 宗和



Data 京阪電車樟葉駅から徒歩5分、昭和49年築の6棟建て大規模マンションの1室。もともと3LDKだったところを、前の入居者が和室2間を取り払って使っていたのが気に入って、「手頃な値段」で購入。不動産リノベーション会社「アート&クラフト」に設計を依頼し、LDKを25畳（40平米）に。キッチンを広く開放的に改造し、ウォークインクローゼットも設えた。



入居当時は不動産部門勤務だった憲二さん。「これからはリノベーション」と、工程をすべて社内ブログで公開した。洋子さんは「築35年と聞いて不安でしたが、子供や若い夫婦も多く、気に入りました」。

淀川の流れ、河川敷のパブリック・ゴルフ・コース、川沿いの遊歩道。樟葉駅の東側は広々とした水と緑の風景だ。それを見渡す10階の部屋も、明るい陽射しと開放感に満ちている。

「もともと眺望のいい南向きの物件だったんですが、できるだけ奥まで、家全体に光と風を取り込みたかったんです。部屋にしながら戸外にいるような…」と寺田憲二さん。

入居時に行ったリノベーションのコンセプトは「爽やかな家」。バルコニーからやさしい風が吹き込み、ウォークインクローゼットを通じて寝室へ吹き抜けてゆく。ダイニングの窓辺の陽だまりは、まるで小さなサンルーム。築35年のマンションは、自然との一体感を楽しみながら寛げる、カフェのような空間に生まれ変わった。「シックなトーンでまとめたくて、休日ごとに堀江あたりの家具屋さんを見て回りました。あの時間がまた楽しかったですね」と奥様の洋子さんが微笑む。

2人が結婚を機にこの街へ来て、ちょうど2年になる。憲二さんが育った街で、実家に近いというのもあったが、環境の良さと、何より利便性に惹かれた。2人が勤める淀屋橋へも、休日に京都へ出かけるのも、京阪電車の特急で30分ほど。買い物好きで、百貨店巡りが趣味という洋子さんには申し分ない立地。一方の憲二さんも、月2回は

樟葉

寺田憲二さん・洋子さん

風と光と2人の時間と。

「三都へ30分」の郊外リノベ暮らし。

駅の向こうのゴルフコースへ会社の同僚や友人と出かける。終われば家で食事。広くスタイリッシュなアイランドキッチンにはバーカウンターと化し、ちょっとしたホームパーティーが始まる。「ゴルフ場を見下ろして暮らすなんてぜいたくですね。イギリスの郊外にでも住んでみたい(笑)」と憲二さん。日々の暮らしがすべて徒歩圏内でまかなえるのもいい。会社帰りの買物や休日のランチは駅前の「くずはモール」へ。「ほぼ毎週末行ってますね。百貨店もあるし、インテリアや雑貨の

店も充実してるんですよ。4年後には映画館もできるそうなので、楽しみにしてます」と洋子さん。自転車で回れる範囲も入ると、スーパーは6軒もあるという。

憲二さんにとっては生まれ育った街とはいえ、「2人でゆっくり地元を歩くのはこれからですね」。薫風の季節。まずは少し足を延ばして、川べりの散歩あたりから始めるつもりだ。



幅2メートル20×奥行1メートル40の広々としたアイランドキッチン。家具店の展示に洋子さんが惚れ込み、「このサイズが入るようドアの位置をずらしてもらいました」。テーブルは憲二さんのお気に入り、「カリモク60」シリーズ。訪れた人たちの感想は「モデルルームみたい」だとか。

うちの近所のお気に入り。



樟葉パブリック・ゴルフ・コース

昭和32年(1957)に開設された淀川河川敷のゴルフ場。かつてはトッププロによる「くずは国際トーナメント」も開かれていた本格コースだが、「フラットなコースなので初心者も回りやすい。2人でもOKです」と、ゴルフ歴20年の憲二さん。パブリックならではの低料金、打ち放題練習場やショートコースも備えているので、一から始めるのもよし。ゴルフ未経験の洋子さんも「いざやってみようかと…」。

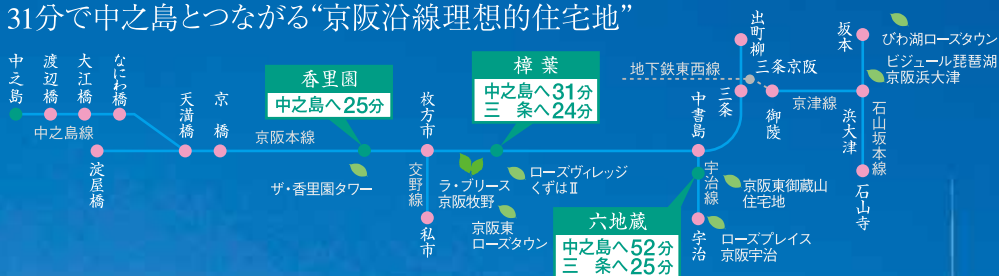
末尾に1・5のつく平日は1ラウンド7,000円。

☎072-857-7110 無休



マンションの中庭は公園。子供たちが元気に遊ぶ声が響いていた。

31分で中之島とつながる“京阪沿線理想的住宅地”



こころまちつくる KEIHAN 京阪電鉄

KUZUHAなう



くずはモール周辺写真



LB
ラ・ブリース京阪牧野

ラ・ブリース京阪牧野
■所在地／大阪府枚方市
■敷地面積／約7,302.34㎡
■総戸数／178戸
◆最寄駅／京阪電車「牧野」駅

※所要時間は目安です。時間帯等により異なる場合があります。

京阪グループが提供する住まいの情報
<http://www.keihan-kiss.co.jp>

中之島から31分という程よい距離感。京阪「樟葉」駅前には「ちよつと憧れの生活」を提案する、くずはモールがあります。去る4月28日には新店舗のオープンやリニューアルによって、ますますおしゃれな施設として生まれ変わりました。

また、2013年秋の完成をめざして増床リニューアル計画も着々と進行しています。そんな自分らしさをかなえるおしゃれな街の隣り。京阪「牧野」では、大阪ではじめて、アフタヌーンティーと一緒のマンションがスタートしています。街も、住まいも、そして暮らしも。ちよつと素敵に、ちよつと贅沢に。さあ、くずはから発信します。



さあ、くずはから。

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店] 旭屋書店 本店/旭屋書店 梅田地下街店/旭屋書店 堂島地下街店/紀伊国屋書店 本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店/ジュンク堂書店 天満橋店/ MARUZEN & ジュンク堂書店 梅田店/スタンダードブックストア/ブックスタジアム/天牛塚書店 大江橋店/ブックファースト 梅田店/ブックファースト 淀屋橋店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など] アイスボット/朝日カルチャーセンター 味の素 食のライブラリー/ ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市中央公会堂/大阪市立中央図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪フィルハーモニー会館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪リバーサイドキャンパス/国立国際美術館/CITY NAILSインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/ろうきんギャラリー心斎橋 [店舗・医院など] アリアスカ マーブルトレ/アンドール 本町本店/上町貸自転車/ Ultra 2nd /江戸前製料理 志津可/ EXPO CAFE / MJB珈琲店/大西洋服店/ OOO (オー) /カセッタ/喫茶カウンター/喫茶SAWA/グランドスイート中之島/黒門さかえ/コモカフェ/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/じろう亭/ Girond's JR /心斎橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/ティーハウスムジカ/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/ NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/パストラーレ/花かつ/ BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/フレイルハウス/ミニミロー/宮崎歯科/やきとり ばかや/吉田理容所/ラ・クッカーニャ/ LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店] 伊勢屋書店/大阪書店/紀伊国屋書店 京橋店/なんばミヤタ/福島書店/柳々堂 [公共施設・大学関連施設など] 大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立図書館 [店舗・医院など] あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリバー/大阪市信用金庫 江戸堀支店/御船かも/ Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ナイルサロン スワンパ/バルビコ/ホテル64オオサカ/ MANGUEIRA / Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 フレスト店/ Books 呼文堂/水嶋書房 千住はモル店/水嶋書房 千住は駅店/大阪狭山市立図書館/大阪大学企画広報/社会学連携事務局/大阪大学 21世紀懐徳堂/大阪大学本部/寝屋川市役所/摂南大学 地域連携センター/郵政考古学会/ゆとりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 新宿店/ジュンク堂書店 西宮店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/大手通りストリートギャラリー 街・発信/納屋工房/タバーン・シン普森/百練/奈良県立図書情報館

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひ申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 中之島オンリーショップ

これまで中之島周辺の歴史やカルチャーなどを紹介してきた島民が、
満を持してこの街にしかない店々をご案内。

●『月刊島民』vol.35は2011年6月1日発行です！

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)

編集・発行/月刊島民プレス

若狹健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 大迫 力(編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン/山崎慎太郎

表紙イラスト/奈路道程

印刷/佐川印刷株式会社

わたしって、
まだまだ小さいな。

大津港付近(浜大津駅下車)
橋葉けい子(大学生)

おけいはん、びわ湖を知る。

びわ湖のほとりへ、京阪電車で。



びわ湖でクルージング。

琵琶湖汽船
077-524-5000

◎浜大津駅下車



びわ湖周辺のおみやげ大集合。

湖の駅 浜大津
077-526-8286

◎浜大津駅下車



温泉もあるバカンス拠点!

琵琶湖ホテル
077-524-7111

◎浜大津駅下車



びわ湖に向かってお茶しましょ。

mado cafe マドカフェ
077-525-5516 ◎島ノ関駅下車



びわ湖のほとりのリアル南ドイツ!

ドイツレストラン ヴェルツブルク
077-526-3500 ◎錦駅下車



隠れ古民家で極上緑茶スイーツ。

伽藍堂 からんどう
077-537-7433 ◎京阪石山駅下車

歴史ある名所も見逃せない!

坂本 日吉大社 (徒歩約10分) → 近江神宮前 近江神宮 (徒歩約15分) → 石山坂本線 三井寺 三井寺 (徒歩約10分) → 浜大津 島ノ関 錦 京阪石山 唐橋前 石山寺 石山寺 (徒歩約10分)

京津線(至三条京阪)

建部大社 (徒歩約20分)
瀬田唐橋 (徒歩約5分)

おけいはん 検索
www.okeihan.net

京阪の
おけいはん。